

第1号事業

“地域新電力事業を核とした地域循環共生圏検討事業
【湖南省版シュタットベルケ構想】”

(事業概要)

令和元年10月 滋賀県湖南省

現状

湖南省では、地域における自然エネルギーの活用の基本理念等を定めた湖南省地域自然エネルギー基本条例を平成24年9月に制定、平成27年2月には、地域が主体となった持続可能な地域社会構築のための具体的方策を示した湖南省地域自然エネルギー地域活性化戦略プランを策定している。

平成28年5月には官民連携による自治体新電力会社「こなんウルトラパワー株式会社」を設立し、同年10月から公共施設及び民間施設への電力供給を実施している。また、小売電力事業の利益を活用し、次の段階の事業として公共施設の省エネ調査を行い、この検討結果から省エネルギーサービス事業を行っている。この省エネサービス事業においては、周辺自治体へも展開を図っている。

課題

市のエネルギープラン等に基づきながら、地域の資源を活用し、地域新電力会社を核とした官民連携の取組により、エネルギー費用の流出の最小化を図り、低炭素化を目指すこととしている。

これまで、エネルギー費用の流出の最小化を図ることとし、地域資源を活用した官民が連携した再生可能エネルギーを活用した取組を進めているが、これらにおいて、地域での経済効果及びプロジェクト全体での温室効果ガスの削減量の把握ができていない。

また、継続的に取組を拡大していくためには、自治体新電力会社を核とした再エネ導入・省エネ推進・脱炭素化への持続可能な全体の事業収支がプラスとなる事業が求められていると考えている。

したがって、こなんウルトラパワーを核として湖南省、地域企業、市民が一体となり、経済合理性、持続可能性を有する地域資源を活用した地域経済循環の取組を推進することを目的とし、事業検証等を行うこととしている。



グリーンボンドを活用した
太陽光発電事業

目的	内容
太陽光発電（10kW未満）について、買取及び電力供給の検討	10kW未満の家庭用太陽光発電事業について、家庭用の太陽光発電事業の買取及び電力供給について、他の自治体新電力会社等との連携検討調査を行う。
地産地消のエネルギー導入のため、太陽光発電網の検討	地域の再エネ活用の価値を再評価するため、スマートグリッドを活用した送電会社による近接託送料の創設可能性検討調査を行う。 また、ブロックチェーン技術による時間減価・距離減価の導入可能性調査を行う。
農福連携によるイモ発電事業実証検討	福祉事業者等が取り組むイモ発電事業においては、サツマイモの多層栽培を行い、メタン発酵によるガス発生をさせエネルギーを生み出すことを行っており、発生したメタンガスから発電機にガスを送り込み、発電機が稼働するまでに至っている。 発生するガスの濃度が一定に保つよう、調査検討を行う。 また、イモ栽培においては、農福連携による就農が進むよう、取り組むこととしている。
林福連携による木質バイオマス資源燃料化検討	間伐材の搬出や薪等の製造について、林福連携の取組を持続可能な形で進めるため、福祉作業所との作業分担のマニュアル化、燃料搬出の実装を行う。
こなんウルトラパワーを核とした公共施設の脱炭素化検討	市民サービスの質の向上やコスト縮減の両立、防災拠点化、地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の目標達成に向け、こなんウルトラパワーを含めた公共施設の維持管理体制や脱炭素化（省エネ化・再エネ導入）に伴う電気代削減による設備投資などの、指定管理者による持続可能な公共施設運営の調査検討の上、地域循環共生圏を踏まえたシュタットベルケ構想検討を行う。

事業の実施体制

主体		役割案
民	市民	出資、イベント・市民連続講座への参加、活動への参加・協力、太陽光発電データの提供・自家消費型太陽光発電の取組実施
民	一般社団法人コナン市民共同発電所プロジェクト	発電所の設置・運営、売電量の報告、出資者募集、市の条例・プランに基づく事業実施
産	地元企業	出資、設置場所の提供、各社ホームページ掲載・広報誌掲載、地産地消の推進、製品・技術開発、地域貢献、自家消費型太陽光発電の取組実施、木質バイオマス燃料製造・販売・利用、木質バイオマス需要設備の導入
産	こなんウルトラパワー	地産電力の買取、地域需要家への電力供給、技術ノウハウ・資金提供、新事業の検討、再エネ取組みへの支援、再エネ導入の評価検証
官	湖南省	条例・プラン等整備、設置場所の提供、市広報誌等での周知啓発、イベント・市民連続講座開催、人材育成、地域とのパイプ役、県・国との連携
学	大学等	技術ノウハウ・知見の提供、研究開発
金	地元金融機関	資金調達、融資、地域貢献、企業ネットワークの活用

